

| | | | | | |
|--------------------|--|---|--|------------------|----|
| 法人（事業所理念） | | 私たちは、誰もが幸せに生きられる地域社会をつくります。そのため、私たちは、優れた、より良い福祉環境づくりへの取り組みの意気をもって、住民（地域生活者）一人ひとりの生きがい感に充たされた暮らしの創造と、山形県及びその周辺地域の発展に貢献します。 | | | |
| 支援方針 | | 日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、利用者等の意思及び人格を尊重し、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行う。 | | | |
| 営業時間 (サービス提供時間) | 放課後等デイサービス 児童発達 | 【平日】14時 00分 から 18時 00分まで 【長期休暇】8時 30分 から 18時 00分まで | 【平日】9時 00分 から 12時 00分まで 【長期休暇】平日と同様 | 送迎実施の有無 ※村内のみ | あり |
| 支援内容 | | | | | |
| 本人 支援 | 健康生活 | <p>○心身の把握（利用時の朝すばるの「健康カード」で体調を確認頂き、様子によってご利用いただく。利用時は常に様子を確認し、小さな異変やサインに目を配り、体調に変化ある場合は関係者へ連絡等行う。）</p> <p>○基本的な生活スキルの獲得（子どもの障害特性に合わせて視覚提示等を行う。衣服の着脱やたみ方の練習、身だしなみの整え方、排泄、食事のマナー等、生活に必要な基本的スキルを身につけられるよう支援する。）</p> <p>○時間に応じた行動の切り替え。（障害の特性に配慮し、見通しを待てるよう事前の声掛けや、タイマー等を使い、時間や空間を構造化する。）</p> <p>○自立訓練（個別又は小集団で将来に必要なスキルの獲得を行う。障害特性に合わせて手帳等活用し、様々な種加の中で場面ごとの適切な意思表示ができるよう支援する。）</p> | | | |
| | 運動・感覚 | <p>○感覚や特性への対応（体を使った体操や遊び、小集団での活動、手先を使った季節ごとの制作、公園や散歩、図書館等の体験、生活していく中で使う道具の使い方などを取り入れ支援する。）</p> <p>○運動や動作への刺激（日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持の声掛け。平日に行う小集団種加、長期休暇など広い空間で活発に身体を動かす、ルールのある種加の中で運動療育を行っていく。）</p> <p>○視覚、聴覚、触覚を巧用できる種加を行う。（工作、折り紙、手先を使ったポットイン、ボール遊び、全身を使うサーキット、絵本の読み聞かせ等を行い、五感で感じられるよう種加の中で刺激を行っていく。）</p> | | | |
| | 認知・行動 | <p>○認知や行動の手かりとなる概念の形成（パズルや型はめポットイン、ブロック等立体的な造形物を使った創作活動、音楽のリズムを使って五感を刺激する種加等を用いて取り組んでいく。）</p> <p>○空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定（タイムスケジュールや時間の視覚化を行っていく。）</p> <p>○認知のこだわりへの対応（個々の特性やこだわりを把握し、小集団種加や遊びの中で配慮しながら適切な行動を学んでいく。情報を適切に処理できる体制を整える事と、保護者の方との情報共有を行い、具体的な支援に繋げていく。）</p> | | | |
| | 言語・コミュニケーション | <p>○言語の形成と活用（日々行う「帰りの会」で自分の事を発表したり、活動や遊びの中での場面場面で個々の認知力を加味し具体的な言動を伝え、繰り返す事で少しずつ身に付くよう支援していく。）</p> <p>○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（挨拶、活動や遊びを通して場ごとの言葉使いや言語を習得し、他者とのコミュニケーション能力を向上させていくよう支援する。）</p> <p>○読み書きに対する学習支援（個別の宿題や、個々の特性や発達状況に合わせて学習プリントを使って、能力の向上のための支援を行う。）</p> <p>○指差し、身振りサイン等の活用（個々の発達段階で対応できる手段を用いて、意思の伝達を行う機会を重ねていくよう支援を行う。）</p> | | | |
| | 人間関係・社会性 | <p>○他者との関わり（人間関係）の形成（小集団での活動や遊びを通じ、関わり方を学んでいく。人の動きを模倣することにより、社会性や人間関係の芽生えを促していく。）</p> <p>○個々の発達段階に応じた遊びや活動への参加（象徴遊び、共同遊び、集団遊びと個々の発達の様子を確認し、自発的な参加を促していく。手順やルールを守りながら関わり方を学んでいく。）</p> <p>○自己の理解とコントロール（自分のできること、できないことなど自分の行動を理解する。気持ちや感情のコントロールを学べるよう支援する。）</p> | | | |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供に関する情報の提供と定期的な支援調整 ・子供の発達上の課題について気づきの足し、必要な助言等支援 ・関係者、関係機関の連携による支援体制の構築 | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な移行先との調整、連携 ・移行先との移行先金や支援内容等の共有、支援方法の伝達 ・子供の情報、親の移行等についての移行先への伝達 ・地域交流の機会の提供、集団等、適応する力の支援 | | |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や、他の障害福祉サービス事業所との連携 ・学校や併用利用事業所との情報共有 ・自立支援協議会への参加 | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員向けの各種研修会や、研修会への参加 ・定期的な会議やミーティングの実施 ・日々の細かい対応や支援の徹底 | | |
| 主な行事 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事の実施（夏祭り、クリスマス、敬老の日） ・季節の制作（子どもの日、七夕、ハロウィン、節分、お雛様）等 ・お年寄りとの交流 ・図書館、公園・お買い物体験 ・防災訓練の実施（年2回） ・臨床心理士による個別の発達相談 | | | | |